

| | |
|-----------|-------------|
| 2015年度 前期 | リフレクションペーパー |
|-----------|-------------|

| | | | | | | | |
|---------------------|--|--------------|-----------|------|------|-----|------|
| 学科名 | 情報学科 | | | | | | |
| 科目名 | データ構造とアルゴリズム I | | | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 | 単位数 | 2 | 開講時期 | 2年前期 | | |
| 必修・選択の別 | 必修 | | | | | | |
| 担当者 | 戒田 高康 | | | | | | |
| 授業の到達目標 (シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解している。 ・基本的データ構造、抽象データ型を理解している。 ・構造化プログラミングの意味を理解している。 | | | | | | |
| 日程と内容 | <p>4/10 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法を説明し、その他についての簡単な説明</p> <p>4/17 プログラミングとアルゴリズム、計算量入門についての説明</p> <p>4/24 データ構造の基礎、抽象データ型についての説明</p> <p>5/01 リスト、スタック、キューについての説明</p> <p>5/08 木構造、クラスについての説明</p> <p>5/15 フローチャートの基礎（端子と接続）についての説明</p> <p>5/22 フローチャートの基礎（分岐と反復）についての説明</p> <p>5/29 前半のまとめ</p> <p>6/05 再帰的アルゴリズムについての説明</p> <p>6/12 線形探索についての説明</p> <p>6/19 二分探索についての説明</p> <p>6/26 バブルソートについての説明</p> <p>7/03 クイックソートについての説明</p> <p>7/10 平衡木とB木についての説明</p> <p>7/17 期末試験</p> <p>7/24 期末試験の解答と解説とまとめ</p> | | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | 100% | 実技 | | | | |
| | 臨時試験 | | 部外評価 | | | | |
| | 報告書・レポート | | プレゼンテーション | | | | |
| | 課題 | | 計 | 100% | | | |
| | 演習 | | | | | | |
| 授業到達目標の達成度 | <p>合格者の一部(補習による合格者)を除いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解している。 ・基本的データ構造、抽象データ型を理解している。 ・構造化プログラミングの意味を理解している。 <p>の75%以上を理解している。</p> | | | | | | |
| 反省点 | <p>今年度から、講義において学生に質問をし理解度を計りながら進めたが、僅かではあるが、進度に影響が出た。また、学科における必修科目であるので受講者が60人を超えているので質問されている学生以外への配慮が必要である。</p> | | | | | | |
| 来年度の計画 | <p>演習科目とのセットの講義なので、本来、座学として説明や解説が中心であることは変わらないが、講義中で手を動かせる内容も盛り込む工夫を検討する。</p> | | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | <p>設問1(授業内容の理解)および設問2(教員の説明のしかた)が平均より低いのは、意識して改善の必要がある。一方、設問13(1週間で平均自学自習時間)が平均よりも僅かであるが高いことは狙い通りであると推測される。</p> | | | | | | |
| 履修登録者数 | 68名 | 定期試験 受験者数 | 64名 | 合格者数 | 64名 | 合格率 | 100% |